

第3回血液浄化工学ビデオセミナー

「透析患者の合併症と多様化する血液浄化技術」

—透析患者に起こりやすい様々な臨床症状や合併症を克服するための治療戦略—



かつては手をこまねいていた多くの「臨床症状や合併症」は、日進月歩で発展する技術によって「克服可能な治療戦略」として適応可能なものも少なくありません。本年3月に東京で開催されました第3回血液浄化工学セミナーでは、合併症を克服するための血液浄化技術と期待される効果を得るために必要な治療戦略を解りやすくご講演頂きました。講師陣は、我が国のみならず世界でご活躍されている著名な先生方で、同日に一堂に会するという極めて貴重なセミナーでした。治療現場の最前線で戦う我々スタッフにとって、最大の敵は「旧態依然で漫然とした」対処であろうと思います。合併症に苦しんでいる多くの透析患者さんを救うために、当日の講演をそのまま再現した本ビデオセミナーでさらに知識を深めて頂きますようご案内申し上げます。

日本血液浄化技術学会 理事長 山家敏彦

In名古屋



日時:平成22年10月24日(日)、9:30開講、16:20終了予定 9時受付開始

会場: 中外製薬株式会社名古屋支店8階 会議室 中外東京海上ビル

基調講演: 「透析患者の予後向上を目指した治療戦略」
昭和大学医学部腎臓内科 秋澤忠男 先生

第1部「ダイアライザの選択」

～生体適合性と溶質除去性能、二つの異なった側面からの検討～

1. 「透析時微小循環動態を考慮した膜の選択」
社会保険中京病院 腎・透析科 佐藤元美 先生
2. 「透析膜の選択 ～生体適合性の側面より～」
大分大学 医学部総合内科学第二講座 友 雅司 先生
3. 「ダイアライザの選択: 溶質除去性能よりの考察」
あかね会土谷総合病院 外科・人工臓器 川西秀樹 先生

第2部「治療法と治療条件の選択」

～ひとりひとりの患者に合わせた適正な治療法と治療条件の設定～

4. 「症例に応じた透析処方のコツ」
矢吹嶋クリニック 政金生人 先生
5. 「除水条件の検討 —モニタリング機器の活用—」
松和会 池上総合病院 大谷浩一 先生
6. 「透析液の処方、種類 (AFB、カーボスター等) の選択」
池袋久野クリニック 久野勉 先生
7. 「透析時間と治療回数の設定」
坂井瑠実クリニック 坂井瑠実 先生



参加費: 正会員 無料、下足番の会 会員・東海透析技術交流会 会員 2,000円、
一般 3,000円

開催場所の地図等、くわしくは下記のURLで当会HPをご覧ください。

<http://www.jouka.com>

メールでのお問合せ先: 光寿会リハビリテーション病院 柴田昌典
shibata@koujyukai.jp

主催: 日本血液浄化技術学会 後援: 下足番の会、東海透析技術交流会